

多様な主体と連携した高齢者の生活支援に関する事例(例)

分類	実施主体	連携する多様な主体	内容	サービスや活動を創出した際の関係者等
通いの場	◆◆自治会	社会福祉法人 〇〇会	【取組内容】 ・〇〇会の通所介護サービス休業日に、場所を◆◆自治会に無償提供し、週に1度の通いの場(体操など)を実施。 【実施背景】 ・◆◆自治会にて住民よる通いの場の立ち上げ要望があったが、集まる”場所”が地域にない状況。包括職員が〇〇会に相談。休業日に〇〇会の場所を無償で提供し、通いの場を立ち上げた。 【運営方法等】 ・◆◆自治会、包括職員が連携して運営開始。事業所職員が場所の開閉、活動の見守りなどを協力。	◆◆自治会長 地域包括支援センター職員 社会福祉法人〇〇会職員
移動支援	支え合い活動団体 (住民主体団体)	支え合い活動団体 (住民主体団体) 〇〇自動車学校	【取組内容】 ・住民主体によるミニデイ、カフェ(通いの場)への送迎。また買い物同行や通院等を含めた日常生活と一体的な移動支援を実施。 ・〇〇自動車学校と連携し安全運転者講習会を毎年実施。 【実施背景】 ・公共交通が利用できない高齢者に対して、地域で住民主体による移動支援サービスの創出を検討。 ・講師を招き、移動支援における勉強会や実証実験などを行い、校区ごとのニーズに合わせ移動支援要綱を整備し、移動支援 ・定期的な安全運転者講習会の開催のニーズがあり、〇〇自動車学校の協力のもと、運転者を対象に講習会を毎年実施している。 【運営方法等】 ・市社協(生活支援コーディネーター)が、地域のニーズを把握し活動に繋げている。 ・住民向けの勉強会や話し合いを定期的に行っている。 ・安全運転者講習会は〇〇自動車学校の教員が実施協力。	〇〇自動車学校長 支え合い活動団体役員 市福祉課長 市地域包括所長 生活支援コーディネーター
買い物支援	▼▼自治会	◇◇株式会社	【取組内容】 ・移動販売のニーズのある地域と◇◇株式会社が共同して、地域に移動販売車を走らせる。 【実施背景】 ・地域で買い物に不便を感じている住民からの声があったこと及び、◇◇株式会社より地域貢献として移動販売の拡大を検討している旨の相談があったことから、両者をつなぎ、実現している。 【運営方法等】 ・校区社協等を通じて、地域のニーズを把握、体験会を実施して必要性を判断。その後、◇◇株式会社独自で運営している。	◇◇株式会社営業部長 校区社協職員 ▼▼自治会長 民生委員 生活支援コーディネーター

・
・
・